

「海賊とよばれた男と神話とアベノミクスと乾杯」の関係



遅ればせながらベストセラー「海賊とよばれた男」を読みました。
出光興産の創業者の出光佐三の自伝的小説なのですが、唸りました。
出光のガソリンスタンドでガソリンを入れたことはありますが、まさかこんなに凄い人物のこんなに壮絶な人生があつてのガソリンスタンドとは・・・(汗)。と同時に、戦後の焼け野原から多くの日本人が屈辱の中を立ち上がり、日本の未来に賭けたからこそ奇跡の復興があつたんだと心に刻み直しました。(感謝)
しかしいつ頃から日本は賭けるものを失ってしまったのでしょうか？
私は1979年ごろ、愛知県知多半島の小島からそれは始まったとみています。日はまた昇り、そしてまた落陽していった。その反転日の貴重な映像がこれです。↓↓↓



<http://www.youtube.com/watch?v=FHsVf0hhjmQ>

焼け野原から高度経済成長を達成した先に、魂を賭けるものが何もないことに気付いてしまった若者たちの最後の祭り・叫びのようなエネルギーに溢れています。そして35年。現在に至るまで、いまだ魂を賭けるほどのものが見当たらず、ミハエル・エンデの「ネバーエンディングストーリー」で言うところの



<http://www.youtube.com/watch?v=zeRoEBvBL4Y>

「無」が若者たちを襲い続け、

今では、



や



に

<http://www.youtube.com/watch?v=7PI5c15LRuA>

<http://www.youtube.com/watch?v=k9lXFr-1jT8>

完全に頭の中を支配されつつあります。(自分もはまっています)
無意味な無価値観があまりに正直にリアルすぎて脱出できないんです。
そして日本の若者たちがこうなることをあらかじめ予期し、危惧していた、
卑弥呼の生まれ変わりである中島みゆきさんが「無」に襲われていた若者たちのカリスマだった吉田拓郎さんに闘魂注入した歌がこれです↓↓↓。



<http://www.youtube.com/watch?v=q1sRAXZ-qLM>

「無」から抜け出す特効薬がこの歌には込められています。そしてこの効能はデフレにも効くんじゃないかとみております。アベノミクスは引き寄せの法則です。種明かしをしてはいけないんだと思います。無への恐怖からか「その根拠は何?」と執拗に問い、自他ともに動けなくしてしまう日本人数より、「まあ1回やってみよっか!」と軽やかに決断できる日本人数が少しでも上回れるように国民の気持ちを誘導することが、逆に無(デフレ)から脱脚する現実を創っていく。結果らしき態度が原因を創り、結果を引き寄せていく経済対策。第二次安倍内閣は護送船団方式の笑門来福内閣と見たり!



我々の作業現場においても「場づくり」が「前向きな心」を創り、結果を引き寄せていきます。とつても暑くて悲惨な作業現場に遭遇。「こんなの出来るわけね〜!」と泣き言が出そうなところを、つばを飲み込みニコリと笑ってまずKY。心を落ち着けるためにとりあえず掃除。片付いてきたらシートを敷いて道具をきちんと並べ照度の確保。区画と表示ができたころにはもうチーム全員心やったるぜ状態。4Sで見える化した設備は、責任者の頭の中で作業の終わりまでのイメージをたやすくしている。こういう状態のときは自ずと安全と品質の結果は出るというもの。でっかい夢に魂を賭ける生き方が出来なくとも、ちっちゃい日常の場に魂を込める生き方が出来たなら、人は「無」から解放され生き生きとできるのだらうと思います。

↑↑↑↑《号外!号外!号外!号外!号外!号外!号外!号外!》

ここまで書いてこのブログをアップせずずっと放置していたら、突然また反転現象が始まりました! 前回は1979年愛知県の篠島という小さな島でしたが、今回は地球の反対側、南米大陸のブエノスアイレスからです。戦後、日はまた昇り、落陽していった。しかしまた再び昇りはじめました! 日本が陽転してゆく貴重な瞬間映像がコレ↓↓。



<http://www>

※IOC(国際オリンピック委員会)ロゲ会長の無表情さ最高でしたね。「無」を「公平さ」に反転させ消滅させてくれました。めでたしめでたし。



2020年東京 オリンピック・ パラリンピック 開催決定おめ でとう！！！！

10倍返しの復興と
おもてなし五輪に乾杯！！

感謝！ 羽原篤史 

